

しむかつぷ ぎかいだより

No.181

2025年 2月号
(令和7年)



第5回 定例会

歯科診療所エックス線CT装置購入へ

📷 今月の表紙 『令和7年 占冠消防出初式』

令和7年1月5日(日)に富良野消防署占冠支署庁舎前で点呼・観閲を実施した時の一枚です。



≪ 議会広報や議事録全文は
村ホームページでご覧になれます。 ≫

○第5回定例会	p 2
○村内所管事務調査・議員派遣	p 4
○村長の行政報告	p 5
○決算特別委員会	p 6
○一般質問 7議員	p 9
○議員の主なうごき	p16

購入へ／令和5年度決算を認定

令和6年 第5回定例会

- 会 期 12月12日から13日まで（2日間）
- 一般質問 7議員
- 審 議 条例の一部改正、補正予算、財産の取得など計15件をすべて原案どおり可決
- 傍 聴 12日…15人 13日…0人

条例の一部改正

▼占冠村総合センター条例の一部改正

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の改正に伴い、利用の制限を可能とする対象から「精神異常者」を削除するものです。

質疑

問 木村議員

この文言は法律改正に関わらずもっと早く削除すべきだったと思うが、見解を伺います。



三浦総務課長

ご指摘は一理あると思われるため、今後不適切な文言が認められれば随時改正するよう努めます。

再問 木村議員

関連して、障害者差別解消条例を制定する考えはないのか伺います。

三浦課長

国において障がいのある人に対する合理的配慮の内容が定まっておらず、現時点で条例化の予定はありません。

▼占冠村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴う期末手当の改正を行うものです。

▼特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正
人事院勧告に伴う期末手当の改正を行うものです。

▼占冠村職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴う一般職の給与、各種手当の改正を行うものです。

▼占冠村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

会計年度任用職員の処遇改善のため、期末手当の改正を行うとともに、令和7年度から勤勉手当を支給できるように改正を行うものです。

▼占冠村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

令和7年4月より、育児休業中の会計年度任用職員についても勤勉手当を支給できるよう改正を行うものです。

令和6年度補正予算

質疑

〔一般会計 第6号補正〕

問 木村議員

農業振興・新規就農等支援対策補助金207万7,000円の減額について内容を伺います。

鈴木農林課長

当初予定していた施設整備費300万円を機械購入費に振り替えたため減額するものです。

問 木村議員

道の駅修繕料180万円に

ついて内容を伺います。

平岡企画商工課長

空き店舗の間仕切りの解体、天井及び壁クロスの一部張替え等を予定しています。

問 藤岡議員

保育間伐工事409万8,000円、公有林整備工事191万9,000円の減額について内容を伺います。



杉村林業振興室長

保育間伐工事は、南富良野町内にある村有林を予定していましたが、村外に所在するため、道補助金の年度内申請手続きが困難となり、実施を見送ることとなりました。

公有林整備工事は0.9ヘクタール、2,041本の植栽（トドマツ）を予定していましたが、苗木確保が困難であることから、年度内の事業実施を見送ることとなりました。

再問 藤岡議員

苗木調達の件について富良野地区森林組合に確認したところ、確かに苗木供給の滞りはあったものの、契約に係る

歯科診療所エックス線CT装置

見積依頼が10月中旬となり、契約事務の遅滞も一因と思われるが再度伺います。

杉村室長

ご指摘のとおりであり、今後は事業計画に対する進捗確認等に十分留意し、全体で共有しながら業務にあたっています。

問 大谷議員

住宅管理費の修繕料310万円の内容を伺います。

小林建設課長

この修繕は第2トマム団地火災後の始末を内容とするもので、予算不足が生じたことから増額するものです。

再問 大谷議員

隣接する住宅も火災の影響を受けているが、対応について伺います。

小林課長

隣接住宅について壁等の一部に被害が生じており、建て替え時に併せて必要な対応を行います。

問 下川議員

村道管理委託料500万円、村道除排雪機械等借上料

450万円の増額理由について伺います。

小林課長

村道管理委託料については、春から夏にかけての道路維持経費が予算を大きく超過したため補正するものです。村道除排雪機械等借上料については、今冬の降雪量が多くなる見込みであることを踏まえて排雪経費を増額するとともに、村道ホロカ幾寅線の林友橋補修工事に伴う除雪経費を計上しました。



【国保会計 第3号補正】

問 木村議員

被保険者数及び世帯数の大幅な減少に伴い、国民健康保険税が大幅な減額となっているが、今後における国保運営に影響はないのか伺います。

伊藤住民課長

国保財政の安定的な運営については北海道全体での議論も進められており、市町村としては税収確保、医療費の減額につながる保険事業の推進など、被保険者の協力をいただきながら進めていく考えです。

【簡易水道事業会計 第2号補正】

問 木村議員

過年度修正損20万9,000円の減額内容を伺います。

小林課長

当初予算において令和5年度引当金繰入額の算出に誤りがあったため減額するものです。

問 木村議員

令和5年度分消費税及び地方消費税確定申告納付金58万5,000円の減額について伺います。

小林課長

申告納付額の試算により9月補正で230万円の増額補正を行いました。特定収入の取扱いについて指導を受けた結果、84万8,800円の申告納付額となったため減額するものです。

令和6年度 補正予算(専決処分)

一般会計(第5号) …… 420万円増

総額 29億3,400万円→29億3,820万円

・衆議院議員選挙関係経費 …… 420万円増

令和6年度 補正予算

一般会計(第6号) …… 7,680万円増

総額 29億3,820万円→30億1,500万円

・富良野広域連合負担金 …… 328万9,000円増

・ふるさと納税寄附者贈呈品 …… 1,200万円増

・環境保全と観光振興基金積立金 …… 4,000万円増

・村道等管理委託料、除排雪機械等借上料 …… 950万円増など

一般会計(第7号) …… 1,120万円増

総額 30億1,500万円→30億2,620万円

・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 690万円増

・シュガーハウス整備事業 352万2,000円増など

国民健康保険(第3号) …… 50万円増

総額 1億4,100万円→1億4,150万円

・出産育児一時金 …… 50万円増

介護保険(第2号) …… 70万円増

総額 1億2,290万円→1億2,360万円

・給料、手当 …… 50万6,000円増など

簡易水道(第2号) …… 120万円増

収益的支出総額

1億3,259万8,000円→1億3,409万8,000円

・中トマム導水ポンプ場修繕料 …… 160万円増

・水質検査業務委託料 …… 50万8,000円減など

資本的支出総額

5,534万4,000円→5,504万4,000円

・工事請負費 …… 16万9,000円減など

公共下水道(第3号) …… 42万1,000円増

収益的支出総額

1億533万2,000円→1億575万3,000円

・管渠、原水ポンプ配管等修繕料 76万4,000円増

・消費税及び地方消費税納付金 …… 58万5,000円減など

議決

▼財産の取得

- ・取得財産
占冠村歯科診療所歯科用エックス線CT装置一式
- ・取得方法 随意契約
- ・取得価格
1,283万5,790円
- ・取得先
北海道歯科産業(株)(札幌市)

問 木村議員

機器の導入により受診者である住民にどのような効果及ぼすのか伺います。

伊藤課長

現在使用中の機器はアナログ式で、耐用年数も十分経過し、故障時の修繕も困難な状況です。新たな機器の導入により、持続可能でより質の高い地域医療の提供が可能となり、住民の福祉向上に努めてまいりたいと考えております。

反対討論

木村議員

歯科診療所特別会計においては、受診患者数の激減に伴い、現在の1日当たり患者数は3・9人、年間診療報酬収入が約800万円であり、一般会計より1、

200万円の繰入をしてやり繰りする運営状況です。導入により受診者である住民に及ぼす利点が不明確であり、1,300万円という年間の一般会計繰入金以上の高価な設備投資が住民から税金の無駄遣いとの非りを受けることは明白であり、本案に反対します。

賛成討論

藤岡議員

購入金額は抑えられることが望ましいが、既存機器の導入から30年以上が経過しており、故障時のメンテナンス等を考慮すると導入すべきと考え、本案に賛成します。

※採決の結果、賛成6、反対1により原案可決

村内所管

事務調査

10月7日に実施し、12月12日の議会定例会で小林総務産業常任委員長から報告されました。

①占冠中学校屋外排水施設修繕状況等調査

手洗い場及びトイレの詰まり、悪臭等により、夏季休業中に屋外排水施設の修繕が行われた。

石鹼カスや汚物等による配管の閉塞及び破損が確認され、配管、枺等の更新により概ね改善が図られたものと認めるものの、当該施設は指定緊急避難所に指定されており、かねてからトイレ全体に係る改修の必要性が指摘されており、年次計画による計画的かつ早期の整備を求めるものである。

②村営プール中央配管修繕状況等調査

中央プールのろ過機及び配管の不備により修繕が行われた。

ろ過機ポンプ、既設給水管の更新により水位低下の緩和が認められるが、日5センチ程度の水位低下が続いていることから、次年度に損傷があると推測される排水配管を更新する予定である。

次年度の開設時期までに修繕を完了するよう計画的な対応を求めるとともに、トマムプールも含めた日常

的な点検調査、メンテナンスを徹底するよう求めるものである。

③道の駅建物明渡し後の状況等調査

建物については、必要最低限の清掃、修繕を行なった上で明渡しを受けたことが確認された。

今後の利活用については、飲食可能なフリースペース、キッズスペース等に転換する方針とのことだが、道の駅全体の方向性や構想などについて、長期的視点に立ち、行政、指定管理者、既存入店者のほか、必要に応じ第三者も交え、十分な議論により取り進められるよう求めるものである。



空き店舗はフリースペース化へ

④林道鬼峠線災害復旧及び維持管理状況等調査

令和4年8月15日の断続的な降雨により、大規模な路盤崩落が発生したため、国の災害復旧事業の採択を受け災害復旧工事を行ない、適正に施工復旧されていることを確認した。

また、本年度に実施した木製路面排水、路肩土留等の修繕も適正に処理されていることを認めた。

日常的な施設点検や維持管理、メンテナンスが大雨被害を最小限に食い止める唯一の方法であり、引き続き限られた財源の中で計画的に取り組まれるよう求めるものである。

議員派遣

①上川管内町村議会議員研修会(10月22日 東神楽町)

上川管内町村議会議員、事務局職員など約240名の参加により開催され、本村からは全議員が参加しました。

はじめに、東京大学大学院法学部政治学研究科教授金井利之氏より「議員のあ



上川管内町村議会議員研修会

り方・議会のあり方」と題した講演を受け、自身の著書である「自治体議会の取扱説明書」を基に、「地方議会と自治体議会」「議会・議員不信は深刻」「なり手不足」などについて学びました。

続いて、酪農学園大学農食環境学群環境共生学類教授 佐藤喜和氏より「待ったなしのヒグマ管理の現状と課題」と題した講演を受けました。近年増加傾向にあるアーバンベアへの対応、人間とヒグマの共存に向けた問題などについて説明を受け、クマ問題は社会全体にかかわる問題であり、単に野生鳥獣行政だけ

ではなく、地域防災としての視点が必要であることなどを学ぶことができ、今後の活動に向けた参考となりました。

②総務産業常任委員会行政視察（10月24日、25日 中頓別町・音威子府村）

行政諸課題について見聞を広め、分権時代に即した議会の活性化に資することを目的として行政視察を行いました。

①中頓別町

【中頓別版ライドシェア】

地域交通の課題解消に向け、2016年より全道に先駆けて運行を開始。道路運送法の枠外での運用のため柔軟な運行が可能で住民には好評だが、車両、ドライバー共にボランティアの献身的な活動により維持されているのが実態であり、持続可能な取組として解決すべき課題も山積しているとのことでした。

【介護施設の町営化】

町内の養護老人ホーム、特別養護老人ホームについて、運営法人の経営不振により令和6年4月より町営化に移行。町職員の増加に

加え、介護職の人材確保に苦慮するなど難しい運営を強いられています。地域住民が安心して住み慣れた地域で生活を継続できるような、施設の存在意義を高める活動に取り組んでいくとのことでした。

②音威子府村

【介護福祉施策】

人口619人（令和6年10月1日現在）、高齢化率32.3パーセントの音威子府村は、介護保険料が月額3,600円と全道一低いことで知られており、村の福祉施策について説明を受けました。

本村と同様に特養施設は存在しないものの、デイ



音威子府村議会議員と共に

サービスや短期宿泊事業に加え、高齢者入居施設やコミュニティスペースなどを併設した地域複合施設「とさわ」の設置により、軽介護者が生活可能な環境が構築され、できる限り長く村に住み続けることができる環境整備が図られています。

【産業振興】

村内15戸の農家中10戸がそば主体の畑作農家。酪農については減少が止まらず、現在1戸となっているが、補助制度の創設により6次産業化（ジェラート店開業）に向けた支援が行われています。

新規就農者対策については、補助制度を整備し一定の成果はあげているものの、離農と募集のタイミングに苦慮しているといった報告がありました。

【議会運営】

6名の議員中5名に参加いただき、小規模自治体の議員同士として、議会運営に関することや議員報酬、議員のなり手問題などについて意見交換を行いました。



村長の行政報告

住民懇談会の開催について

10月17日から25日の間に、村内6会場、合計31名の皆様に参加をいただき、各地区共通の話題として、道東自動車道4車線化の進捗状況、地域公共交通の進捗状況、宿泊税導入、ヒグマ等について説明を行いました。

また、個別の話題として、トマム地区では公衆トイレの撤去、双珠別地区では野生鳥獣対策、占冠地区においてはメープルシロップ施設建設について説明したほか、各地区特有の話題についても意見交換することができました。

住民懇談会は、住民の皆様と膝を交えて、地域の課題や将来の在り方について意見交換ができる貴重な機会であり、今回いただいたご質問や地域特有の課題、各種の要望については速やかに対応するなど、より良い村づくりのための施策に努めてまいります。

決算特別委員会

【令和6年10月30日・31日】（傍聴 0人）

決算特別委員会
細谷 誠 委員長

れており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。

今後の村政執行に当たっ

○認定すべきと決定

第4回議会定例会において付託された認定第1号「令和5年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について」は、10月30日と31日の2日間わたる審査の結果、認定すべきものと決定しました。

委員会の決定を受け、第5回議会定例会において細谷委員長から審査結果が報告され、委員長報告のとおり認定されました。

なお、決算特別委員会の審査に先立ち、木村代表監査委員より審査結果の報告がありました。

○監査委員審査意見（抜粋）

審査に付された一般会計及び各特別会計決算書等は関係法令に遵守して作成さ

令和5年度 各会計決算状況

【千円単位切り捨て】

会 計 別	歳 入 額	歳 出 額	差引金額
一 般 会 計	28億9,110万円	28億1,118万円	7,991万円
特別会計	国民健康保険	1億2,886万円	276万円
	村 立 診 療 所	8,612万円	412万円
	簡 易 水 道	1億2,226万円	1,680万円
	公 共 下 水 道	1億2,994万円	2,714万円
	介 護 保 険	1億1,657万円	842万円
	後 期 高 齢 者	2,020万円	55万円
	歯 科 診 療 所	2,193万円	74万円

ては、住民ニーズの変化や時代の要請に的確に対応できるよう、行政サービスの維持向上に努めるとともに、職員一人一人が常に費用対効果の意識を持ち、予算の効率的な執行と健全な財政運営に努めていただくことを望みます。

質疑

《一般会計》

▼歳入

問 小林委員

個人村民税滞納繰越分、固定資産税現年課税分の不納欠損処理について根拠を伺います。併せて、固定資産税滞納繰越分の主な内容について伺います。



三浦課長

個人村民税滞納繰越分の6件は消滅時効によるもの、固定資産税現年課税分の8件は全て即時消滅であり、法人解散に伴う登記閉鎖、相続放棄が主な理由です。固定資産税滞納繰越分

については、266件のうち大半がタワー分です。

問 小尾委員

軽自動車税現年課税分の不納欠損額1万2,900円、収入未済額2万1,300円、滞納繰越分収入未済額3万1,900円の内容を伺います。



三浦課長

現年課税分の不納欠損処分は外国人の出国に伴う即時消滅1件であり、差押財産がなく、追跡も不可能なため処分したものであり、収入未済については3台分です。滞納繰越分については4台分ですが、対象者が1名であり現在納税協議を行っているところです。

問 小尾委員

土地建物貸付収入現年分の収入未済額30万6,200円の内容について伺います。

小林課長

村有地貸付料が1件4,200円、地域振興住宅貸付料が4件26万6,000

円、同じく共益費が4件で3万6,000円となっています。

問 小尾委員

立木売却収入170万9,106円の内容を伺います。

杉村室長

内訳としては間伐材売却収入が107万8,000円、道路支障木売却収入が63万1,106円あります。

問 小林委員

奨学資金会計貸付金収入滞納繰越分度の収入済額43万9,000円の件数及び収入未済額44万8,700円の件数を伺います。

木村教育次長

滞納繰越分の収入済額の件数は5件、収入未済額の件数は4件分となっております。

問 小尾委員

農業振興資金貸付収入滞納繰越分の収入未済額38万7,500円の件数と内容を伺います。

鈴木課長

平成30年度貸付の家畜導入資金のうち、自家保留資

金分1件の滞納でありま
す。

▼歳出

【総務費】

問 木村委員

トマム地区公園整備の今
後の計画について伺いま
す。

石坂トマム支所長

平成30年度より毎年
250万円程度の予算を計
上し、住民の意見を基に整
備を進めています。公園
としては一つの形になりつ
つあると考えています。

問 木村委員

住民活動推進事業補助金
について大幅な減額補正が
なされているが、予算組み
に問題があったのでは。

平岡課長

ボランティア団体の自主活
動に対する補助金のため一定
の予算額を確保する必要が
あるが、今後は事業計画を
勘案しながら対応します。

【民生費】

問 小尾委員

小規模多機能型居宅介
護施設指定管理委託料に

ついて、前年度決算より
800万円増額となった
理由を伺います。

岡崎福祉子育て支援課長

令和4年度は介護報酬の
増額、繰越金の調整等によ
り指定管理料を減額したた
め、前年度比800万円の
増額となりました。

【衛生費】

問 小尾委員

広域救急医療対策事業負
担金について、日高町から
の救急搬送も多い実態があ
ることから、日高町にも負
担を求める余地はないのか
伺います。

伊藤課長

救急医療に対する経費の
一部については5市町村が
ルールに基づき負担してい
ますが、日高町に負担を求
めるのであれば富良野協会
病院が要請すべきものであ
り、5市町村が議論する余
地はないと考えます。

問 小尾委員

総合健診の受診率向上に
向けた方策を伺います。

伊藤課長

対象者への個別勧奨をは
じめ、治療通院者または職

場健診受診者から検査デー
タの情報提供によるみなし
検診を行っており、今後も
北海道国保連合会と連携を
図りながら受診率の向上に
努めます。

【農林業費】

問 木村委員

新規就農等支援対策補助
金について、実習期間中に
実習を中止した方に対し補
助金の返還を求めている
が、本来は返還させるべき
案件と思われるため見解を
伺います。

鈴木課長

個人的な事情につき詳細
は控えますが、実習中止に
至った経緯を含め当人、受
入農家と話し合いを行った
結果、実習期間相当分につ
いては返還事由にあたらな
いと判断しました。実習中
止後は補助金の交付は行っ
ておりません。

再問 木村委員

受入時に就農への覚悟を
認めて補助金を交付すべき
であり、血税を投入してい
る以上正しいお金の使い方
をすべきと思うが。

鈴木課長

新規就農対策協議会で新

規就農計画を確認し、面談
の中で本人の意気込みも確
認しています。補助金の取
扱いに関しては、悪質性も
なく、やむを得ないものと
判断しました。

問 木村委員

中山間地域等直接支払交
付金について、集落の議論
により作成された集落戦略
と照らし合わせてどのよう
に評価されているか伺いま
す。

鈴木課長

集落共用箇所の草刈りや
用排水路の修繕などを行っ
ていただきました。電気牧
柵の貸付事業も実施してい
ただいており、地域の農業
者にはご利用いただけてい
ると認識しています。

問 木村委員

エゾシカ捕獲頭数につい
て、鳥獣被害防止計画の目
標数値を下回る実績とのこ
とだが、目標到達に向けて
どのような方策を考えてい
るか伺います。

杉村室長

個体の行動変化あるいは
活動エリアの変遷等、エゾ
シカを取り巻く環境の変化

はありますが、捕獲従事者
の人材育成を図りながら目
標達成に向け努力していま
ります。

問 木村委員

林業担い手対策事業、林
業労働者安全推進事業な
ど、各種事業の執行率が低
いことに対する考えを伺い
ます。

杉村室長

森林環境譲与税を活用し
て各種施策に取り組んでい
ますが、村内の林業事業体
において新規採用が進ま
ず、雇用の拡大がされてい
ない状況があります。他市
町村と比較しても手厚いメ
ニューを揃えていると自負
しており、林業事業体の雇
用を増やすため、村として
も引き続き支援してまいり
ます。

【商工費】

問 木村委員

道の駅指定管理に関し、
利用者の苦情、利便性向上
にも素早く対応していると
ありますが、建物明渡し訴
訟の件をはじめ、テナント
の閉店が常態化するなど、
実態は違うと感じており、

指定管理者にはしっかりと対応していただく必要があると思うが考えを伺います。

平岡課長

過日、指定管理者及び店舗入居者と打合せの場を設けました。厳しい意見を真摯に受け止め、顧客満足度が上がるような取組を進めてまいります。

【土木費】

問 大谷 委員

湯の沢温泉団地解体後の跡地の利用計画について伺います。

平岡課長

現時点で跡地の利用計画はありません。今後、庁内で検討を進めます。

【教育費】

問 小林 委員

奨学金償還に係る弁護士報酬が執行されているが、これにより納付となった件数と金額を伺います。

木村次長

2件の対応であり、回収額は7万円です。

【一般会計全般】

問 木村 委員

一般会計の歳出における不用額が7,600万円と、昨年度比5割増となつていますが、この要因について伺います。

三浦課長

令和5年度において減債基金に1,730万円を積み立てる予定でしたが、それを失念したことが大きな要因です。今後は十分注意を払ってまいります。

問 小尾 委員

公用車の車両管理について対策が必要と考えるが見解を伺います。

三浦課長

公用車の管理は実質は所管課が行っていますが、各種点検やタイヤ・オイル交換等について周知徹底を図り、安全管理に努めてまいります。

《国民健康保険会計》

問 藤岡 委員

収入未済額156万円、不納欠損額15万円について、主な要因を伺います。

伊藤課長

いずれも外国人の転出に

よるものが大半を占めており、対応に苦慮しています。出国した場合は特に難しい状況となりますが、預金調査等を継続して取り組みなど、収納対策に努めます。

問 木村 委員

保健事業費において予算の3分の1の不用額が生じた理由を伺います。

伊藤課長

各種がん検診委託料の不用額が多くを占めますが、個別検診も含めた各種検診の機会を確保するため、予算減額をしなかったことが原因であります。

《簡易水道会計》

問 小林 委員

給水使用料現年分の収入未済額が大幅に増えている理由を伺います。

小林課長

令和6年度より公営企業会計に移行することに伴い、3月31日をもって打ち切り決算となり、出納整理期間である4月・5月の徴収ができなかったことが要因であります。今後は早めの対応を心がけ、収納確保に

努めます。

問 小尾 委員

次年度繰越金となる実質収支額が1,680万円と多額な理由を伺います。

小林課長

公営企業会計移行に伴う打ち切り決算に伴い、資金不足を回避するため、令和5年12月の定例会で歳入歳出の増額補正を行ったことによるものです。

《介護保険会計》

問 藤岡 委員

令和6年度にて介護保険料が改定されたが、納税者から見たとときに、今後介護保険はどうなるのか不安であり、今後の介護保険の見通しについて見解を伺います。

岡崎課長

令和6年度より保険料を100円増の5,100円とさせていただきましたが、本村は富良野沿線の中でも一番低く抑えています。今後におきましても介護サービスの質を低下させないよう努力するとともに、高齢者の健康維持に努め、介護保険料を抑えるよ

うな取組を進めます。

問 木村 委員

施設系のサービスが減り、逆に訪問等の在宅系サービスが増加傾向にあるが、訪問サービスに対応していく体制が十分なのか見解を伺います。

岡崎課長

訪問リハビリに関してはふらの西病院、老健ふらのの作業療法士等が村内でサービスを提供していますが、村内の小規模多機能型の利用勧奨も進める必要があると考えています。

《歯科診療所会計》

問 木村 委員

診療収入が800万円弱程度と年々減少しているが、その要因をどう考えているか伺います。

伊藤課長

令和4年度と比較すると受診者数が大幅に減少し、診療収入の確保は難しいところですが、歯科検診のPR等により利用につなげ、歯科診療所が持続できるよう努力したいと考えております。



きむら 木村 かつとし 一俊 議員

▶村の外国人対応は？

▶トマムに駐在所を！

▶地域公共交通の問題点と充実は？

▶住民の「終の^{つひ}住^み処^か」をどう考えるのか

1 村の外国人対応は？

問 外国人に対し、日本語教室や生活相談等を含む利便性を持つワンストップ窓口で対応する専門職員の育成や、外国人の採用も考慮すべき時機にあると考えます。村長の考えを伺います。

田中村長

外国人に対し自動翻訳機などを活用して対応し、更に北海道外国人相談センターに繋ぐ体制を整えています。専門職員を配置することは難しいと考えています。

2 トマムに駐在所を！

問 住民の安心・安全を考えれば、駐在所の設置を望むことは理解できます。村長の考えを伺います。

田中村長

要望はしています。占冠駐在所から今冬期間トマムに職員配置を検討しているとの連絡がありました。設置に向けた誘致に繋がっているかと考えます。

きたいと考えます。

問 駐在所設置のために寄付していただいた土地を他の用途に使用していることに対して村長の考えを伺います。

景観美化の観点から、花などの植栽等を行なっているのもので、町内会に支援し整備しています。

田中村長

3 地域公共交通の問題点と充実は？

問 10月の行政視察で中頓



むらびと交通

別町の「ライドシェア」を見聞してきた際、潜在的な移動ニーズを満たす可能性があるので、家用車の活用を進めてはどうかという提案をうけました。「ライドシェア」の活用について、村長の考えを伺います。

田中村長

交通弱者にとって有益であると考えます。導入には、利用者が安心して利用できる仕組みづくりが不可欠と考えます。

4 住民の「終の住み処」をどう考えるのか

問 10月に議会は介護福祉施設を視察してきました。中頓別町では養護ホーム・特養・介護医療院の開設で終末期まで安心して住みなれた地域で過ごすという、まさに終の住み処づくりとも云うべき行政直営での政策を見聞し、音威子府では診療所に隣接した複合施設の中にサ高住を併設し、住み処としていく施策を見ってきました。

この村で暮らし続けるた

めの施策を考えていかなければならないと思います。村長の考えを伺います。

田中村長

小規模多機能型居宅介護施設「とまゝる」で地域密着型サービスを整備し、健康寿命を延ばすための介護予防に力を入れていく事業展開をしているところで

問 在宅介護を支えるためには訪問介護サービスが基本となります。

提供できなければ、町内会の互助サービスで資格の所持にこだわらない、介護保険から逸脱したシステムで助け合うことができないか。これが本当の地域密着型サービスではないかと考えます。村長の考えを伺います。

田中村長

在宅介護における様々な取り組みを色々取り入れながらやっていくのが良いのだらうと思います。

▶村職員（課長等）の処遇

▶昨年度におけるヒグマの市街地出没対処



お び まさひこ
小尾 雅彦 議員

1 村職員（課長等）の処遇

問 村職員の任命、人事異動は村長の専権事項ですが、専門性の高い職種については、通常の人事異動とは相違した取扱いが要されると思います。村長の政策の実現や村政執行方針の達成にベテラン職員育成が要されますが村長の考えを伺います。

田中村長

昨今の専門性の高い職種の採用が本村のみならず、各自治体で課題となっており、業務量の増加や複雑化で職員には苦勞を掛け、学習・研修・実践等により、スキルアップを図りながら対応してまいります。

2 昨年度におけるヒグマの市街地出没対処

問 新聞報道にて砂川市の市街地に出没したヒグマ対処事業について、対応した猟友会支部長が公安委員会から猟銃所持資格の取り消



模擬訓練の概要説明

し処分を受け、道猟友会が各支部に対して、警察との連携が不十分な場合は自治体からの要請に協力しないよう報道がありました。今後地元猟友会との応援対応が求められますが村長の考えを伺います。

田中村長

本村では地元猟友会に丸投げではなく、野生鳥獣専門員を核に村が主体的に働く体制を作っております。突発的に発生する事案は、過度な負担を掛けることなく、作業の安全性、適合性を説明し効率的な作業となるよう指導統制を行なっております。

まいります。

問 年間通しての有害駆除活動と市街地出没のケースでは、警察との調整が要され、綿密な連携も求められます。

村の専門員体制が他自治体からも先進事例として評価されていますが、来年からは国も指定管理鳥獣としてヒグマが追加され、保護から管理体制と相違します。が村長の考えを伺います。

田中村長

市街地出没のヒグマ対応は、地元猟友会、警察署、消防支署を含めて、模擬訓練を実施しました。

富良野警察署では占冠に來る時間が要されるので、地元駐在所にその権利を委任するようです。今後、各関係機関が訓練を重ねることで各自の役割を深められるよう努めてまいります。

問 6月定例会の一般質問答弁で林業振興室の野生鳥獣専門員の業務が多忙を極めている現状を受けて、従

前までの2人体制に戻したい旨の村長答弁がありました。その後職員採用の取り組みに進展があったのかどうかを伺います。

田中村長

村の地域総合交流に関する協定を締結し、野生鳥獣対策でご支援を頂いております。酪農学園大学へ職員を派遣し、当村が望む人物像を説明して在校生及び卒業生を含めての協議をして、人材の確保に努めてまいります。



模擬訓練の捕獲従事者の中間打合せ



しもかわ
下川 園子 議員

▶外国人居住者のサポートを

▶トマム歯科診療所の運営体制は？

1 外国人サポート(村全般)

問 住民の3割近くが外国人の居住者であるのに、サポート体制は整っていないと感じます。多くの在留外国人の方が困る理由として

- ・文書の多言語化がされていない
- ・ルールがわからない
- ・文字、言葉の意味がわからない
- ・コミュニケーションがとれない
- ・学ぶ場がない

・フリーWi-Fiの環境がない
などがあげられます。問題を少しずつでも解決していくべきと考えますが、村長の考えを伺います。

田中村長

サポートについては、課題としてとらえておりますので、外国人従業員を受け入れている事業所や、警察、教育委員会や支援機関とも連携を図りながら、対応策について模索をし、課題解決に向けて少しずつでも前へ進めるよう努力をしたいと、考えております。

2 外国人サポート(社会教育)

問 在留外国人の方は、学ぶ場やコミュニケーションの場を求めています。社会教育としても、外国人の方も学べるような学習の場、コミュニティをとれるような場を設ける必要があると思いますが、教育長の考えを伺います。

多田教育長

住民の約3割が外国籍

3 トマム歯科診療所の運営体制

の方々であることを再認識し、まずは交流するためのネットワークづくり、そしてニーズを把握して最適な学びの環境を提供できるように、地域、首長部局の協力を得ながら取り進めたいと考えております。

問 トマムの歯科診療所の診療日が毎週水曜日の週1回から、隔週の診療になっていました。隔週の診療に変更になるに当たっては、住民への説明はなかったと感じています。

この隔週の運営は、いつまでこの体制でいくのか伺います。

田中村長

令和6年1月22日、歯科医師の申し入れにより、協議した結果1月24日、診療日から隔週での診療としております。歯科医師におきましては、体調不良を訴え



トマム歯科診療所

られており、回復までの当面の間は、月2回のトマム歯科診療所での診療体制でご理解をお願いいたします。また来年度に向けては、希望者には占冠歯科診療所への送迎を行うことを計画しております。

住民の皆様にはご不便をおかけして、満足のいくサービスの提供となっておりますが、医療が受けられる体制を確保してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

▶森林環境譲与税の活用

▶ユニバーサルデザインとバリアフリー

▶ふるさと納税の取り組みは

▶スマート農業と観光農業



ふじおか よしつぐ
藤岡 幸次 議員

1 森林環境譲与税の活用

問 森林環境譲与税の活用実績と内容、そして今後の計画を伺います。

田中村長

小規模森林所有者や森林組合に対して森林整備経費の2分の1を助成する、民有林育成促進対策事業、高性能林業機械活用の助成、担い手対策事業、林業労働者退職金共済制度補助金等に活用しました。今後に向けて、高性能林業機械の活用拡大に向けた制度設計への取り組み、林業担い手対策のさらなる充実、安全対策に対する助成などの要望実現に向けて検討して財源を活用していきます。

2 ユニバーサルデザインとバリアフリー

問 ユニバーサルデザインとバリアフリー対策の現状について伺います。

田中村長

近年の取り組みとして、公共施設トイレの洋式化・

多目的トイレの導入や総合庁舎一階和室のバリアフリー化を実施しています。今後に向けて、学校、避難所のトイレ改修に向けた取り組みを進めていきます。

問 公共施設の点字ブロックや音で知らせる信号機への取り組みはあるのか伺います。

田中村長

公共施設における点字ブロックについては、議論しているところですが、さらに前へ進めるよう努力します。



総合センター1階多目的トイレ

す。また、音の出る信号については公安委員会等に働きかけていきます。

3 ふるさと納税

問 今年の寄付額、返礼品の状況と、返礼品の取り組みについて伺います。

田中村長

10月末実績で昨年の1.4倍であり、増額の補正を計上しました。返礼品は4品目追加で42品目となっており、取扱可能な返礼品を広く募集しています。占冠応援団拡大に向けて取り組みます。

4 スマート農業と観光農業

問 スマート農業の現状と、新たに観光農業の取り組みが必要と考えますが推進策はあるのか伺います。

田中村長

自走トラクターについては、農地の環境から費用対効果が見込めない現状です。酪農経営体において、搾乳ロボット、自動給餌器等が牛舎における省力化の技術導入となっており、また、可変施肥機ブロードキャスターが導入されています。観光農業については、星野リゾートトマムにおいて経営されていますが、今後において、農業と観光をどの様に結び付けていくのか課題であると考えており、引き続き情報収集に努めます。



ふるさと納税返礼品「ルプノリ」



おおたに もとえ
大谷 元江 議員

▶人間ドックとマダニ感染予防接種に助成を

▶村内郷土資料室の今後

1 人間ドックとマダニ感染予防接種に助成を

問 病気の早期発見や予防に「人間ドック」に助成検討の考えがないか伺います。

田中村長

村では総合健診・個別検診と、対がん協会による「がん検診」を実施しております。

また、総合健診を受診できなかった住民の方には個別受診を勧めております。

問 受診率の向上を検討されるとの回答でしたが、中々進んでいかないと考えています。人間ドックへの助成に固着する訳ではないが、助成があれば住民の選択が増え受診が増加すると思います。村で考えを伺います。

田中村長

人間ドックは受診率に換算されません。

村としては費用対効果からすれば村内で検診を受けてもらう方が受診率が向上します。村で実施している

総合健診費用はがん検診を含め2万1,573円、自己負担額2千円です。

村内健診が効果的と考えています。受診勧奨もしておりますが、固定化しているように思われますので、住民への周知にもっと取組む必要があると考えます。

問 「マダニ感染予防接種」に助成ができないか伺います。

林業関係者だけでなく、外で遊ぶ子供達や農作業、山菜取り等の人達にも必要だと思いますが、村長の考え

を伺います。

田中村長

ダニ媒介感染症の発症状況は、平成から令和にかけて北海道において6例です。

ワクチンの有効性・安全性等評価が不透明であり、情報不足から費用の一部を助成し、ワクチン接種を推奨することは難しいと考えます。マダニへの対処方法を周知することは大事なところだと認識しているところで

1 村内郷土資料室の今後

問 占冠交流館併設の郷土資料室の見学が容易にできればと考えますが、教育長に伺います。

多田教育長

現在、管理人が常駐しておりません。

保安上の関係から今後予約を受けてからの見学を継続していく現状ですが、見学希望者が容易に申し込みができるようホームページの活用やスマホからの予

占冠地域交流館内の郷土資料室



約に取り組んでまいります。

問 資料室は、いつでも見学できる形にしていく必要があると考えますし、村内に点在していますので、一か所に集め、整備する必要がありますが、村で考えを伺います。

多田教育長

集約して適切な管理をしているというふうには認識しておりません。場所や展示方法なども含めて検討してまいりたいと思っています。



こばやし じゅん 議員
小林 潤 議員

▶会計年度任用職員の勤勉手当の支給は

▶双珠別川への土砂流入防止は

1 会計年度任用職員の勤勉手当の支給は

問 9月定例会で、会計年度任用職員に勤勉手当を支給する場合は、年間の手当（期末・勤勉）は職員と同じ月数（年間4・50月）を支給する考えがあるのか、確認いたしました。村長は、道内市町村の状況や労使協議等を通じて、検討すると答弁されましたが、具体的にどのような結果になるのか伺います。

田中村長

会計年度任用職員の勤勉手当は、令和7年度から、正職員と同じ月数を支給したいと考えています。

問 今年の人事院勧告は、一時金については0・1月分を引き上げるという内容でした。会計年度任用職員にはどのような取り扱いになるのか伺います。

田中村長

一時金については、現行で期末手当2・6月分の支給ですが人事院勧告どお

り0・1月分を追加した2・7月分とし、その差額分も年内に支給したいと考えています。

2 双珠別川への土砂流入防止は

問 双珠別川と鷗川の合流点付近で現在もかなりの量の土砂が堆積しており、増水時に水害の危険のある双珠別地区の宝珠橋付近も堆積しております。過去の、双珠別川の土砂処理についての一般質問では、定期的な土砂上げを河川管理者に要請していると答弁されていましたが、直近の処理状況について伺います。

田中村長

双珠別川の河川内堆積土砂の除去に関する要望については、北海道が主催する社会資本整備要望会議において毎年行っています。直近の処理状況は、令和4年度に堆積土砂の除去による



宝珠橋付近の増水状況

線形の変更、伸縮箇所への盛土が行われています。

問 土砂が堆積する原因を明らかにすることが重要であると思います。村長は、双珠別川に土砂が流入して堆積する原因は何だと考えているのか伺います。

田中村長

双珠別川流域における、土砂堆積の原因を明らかにすることは、科学的な研究がされていない段階で、断定することは難しいと考えています。

問 具体的な原因を特定するのは難しいとのことですが、もし人為的な理由で土砂堆積が起こるようであれば、何らかの規制をかける考えはないのか伺います。

田中村長

双珠別川流域面積の大半を占める国有林において事業実施に当たり水質汚濁防止、切土盛土の適切な施工により土砂流出防止の措置がとられていると考えています。森林管理署に対し、双珠別川流域の流出防止措置などについて問い合わせ、その情報を議会とも共有したいと思



ほそや まこと
細谷 誠 議員

▶ICT利活用・DX推進を

1 ICT利活用・DX推進を

問 村政執行方針において「デジタル社会の実現に向け基幹業務システムの統一・標準化、システムの移行を進め行政運営の効率化を進める」とあるが、どのように進めているのか伺います。



田中村長

自治体情報システムの標準化は国が示す標準化システムに移行することとされていることから、担当部署と、協力事業者との間でシステム移行の準備を進めていて、デジタル改革支援補助金を活用しながら、令和7年度末までにシステム移行ができるよう現在進めている状況です。

問 第5次占冠村総合計画にもICT利活用によるDX施策が計画されています

が担当部署、職員の意味統一がされていない状況と感じます。

各施策の現状の取り組みや課題を抽出し、包括的な基本施策を計画し村長自ら強い意志を持って推進委員会などを作り一丸となつて取り組む必要があると思うが、村長の考えを伺います。

田中村長

ICTの利活用・DX推進につきましては電子申請システムにより、住民からの手続き申請や、行事の受付、あるいはアンケート調査など可能な範囲で活用し、住民の利便性を高めながら、職員の業務効率化にもつながることから、職員向けの研修も継続的にを行い、対象業務を広げていきます。



デジタル化が進む自治体業務

DX施策については当村の実情にあった取り組みができるよう推進施策を検討し、各担当部署から全体化していくよう推進し、他の自治体の事例なども参考にしながら進めていきたいと考えています。

用語解説

目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示されました。

- DX（デジタルトランスフォーメーション） 先進的なデジタル技術、事業・業務プロセス・サービスを変革すること。
- ICT（インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー） 情報通信技術

議 員 の 主 な う ご き

令和6年第4回定例会以降



令和6年度 上川・留萌管内女性議員研修会

- 9月 19日 議会広報特別委員会(各委員)
- 20日 秋の交通安全運動旗の波(各議員)
- 29日 令和6年度占冠消防秋季演習(各議員)
- 10月2日~3日 上川・留萌管内女性議員研修会(トママー女性議員)
- 4日 令和6年度富良野沿線市町村議会議長会議議員研修会(富良野市ー全議員)
- 7日 総務産業常任委員会村内所管事務調査(全委員)
- 8日 新潟県胎内市議会行政視察(議長)
- 15日 議会広報特別委員会(各委員)
- 17日~18日 令和6年度上川管内町村議会議長研修会(美深町ー議長)
- 22日 令和6年度上川管内町村議会議長会議議員研修会(東神楽町ー全議員)
- 23日 議会広報特別委員会(各委員)
- 24日~25日 総務産業常任委員会道内行政視察(中頓別町、音威子府村ー全委員)
- 28日 秋田県にかほ市議会行政視察(副議長)
- 10月30日~31日 決算特別委員会(全委員)
- 5日 コミュニティ・スクール議会打合せ(各議員)
- 8日 コミュニティ・スクール議会打合せ(各議員)
- 12日 上川町村議会議長会臨時総会(東京都-議長)
- 13日 第68回町村議会議長全国大会、研修会(東京都-議長)
- 13日 令和6年冬の交通安全運動街頭啓発(各議員)
- 14日~15日 上富良野駐屯地の現状規模の堅持に関する中央要望(東京都-議長)
- 18日 コミュニティ・スクール議会に関わる授業参加(トママ学校)(各議員)
- 20日 コミュニティ・スクール議会に関わる授業参加(占冠中学校)(各議員)
- 22日 全員協議会(全議員)
- 27日 令和6年第7回占冠村コミュニティ・スクール議会(全議員)
- 28日 議会運営委員会(全委員)・全員協議会(全議員)
- 12月 4日 議会運営委員会(全委員)
- 【富良野広域連合議会関係】
- 9月 26日 富良野広域連合議会勉強会(広域連合議員)
- 30日 富良野広域連合議会運営委員会(富良野市ー広域連合委員)
- 10月 8日 富良野広域連合議会全員協議会(富良野市ー広域連合議員)
- 富良野広域連合議会第2回定例会(富良野市ー広域連合議員)

議会とはどなたでも気軽に傍聴することができます



児玉議長

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



大谷副議長

今後の
予 定

3月定例会 → 3月6日(木)・7日(金)・11日(火)・14日(金)
予算特別委員会 → 3月12日(水)

※いずれも午前10:00開会

※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

広報からのお知らせ

▼議会広報特別委員会(前期)
委員長 大谷 元江
副委員長 木村 一俊
委員 細谷 誠
委員 下川 園子

余寒厳しき折ではございますが、いかがが過ぎでしょうか。2月といえば、受験生のみならず受験勉強に励んでいる頃なのではないでしょうか。勉強も大切ですが、時には気分転換も、万全の体調で受験当日を迎えてください。みなさんの実力が発揮できるよう応援しています。

また議会広報誌は前号からリニューアルし、より分かりやすく、親しみやすい広報誌を目指しております。お気づきの点や取り上げたいテーマなどありましたらお声がけいただければ幸いです。まだまだ寒い日が続きますが、皆様どうぞご自愛くださいませ。(シモカワ)

編集後記



発行:占冠村議会 編集:議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184
URL <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。